

治療スケジュール

F-7

*レジメン名	ラムシルマブ+FOLFIRI療法(14日間)(大腸)									
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/m ² d1、 イリノテカン150mg/m ² d1、 5FU400mg/m ² d1、 5FU2400mg/m ² d1、 サイラムザ8mg/kg d1									
*手技	癌	*薬品名・*用法・コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d()	d()	d()
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生食注シリンジ 1日1回 開始時 CVポートフラッシュ	10	mL		○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 グラニセロン静注液 1mg デキサート注射液 ポラミン注 5mg 1日1回 メイン① 点滴開始時にアプレピタントカプセル服用	100	mL	15分	○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 サイラムザ 1日1回 メイン② 0.2μmインラインフィルター使用 infusion reaction G2以下:投与速度50%へ減速 infusion reaction G3以上:中止、かつ再投与なし 無菌製剤処理料1	250	ml	60分	○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液 1日1回 メイン③	50	mL	15分	○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注 レボホリナート点滴注 1日1回 メイン④	250	mL	2時間	○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	5%ブドウ糖注 イリノテカン注 1日1回 側管④ 無菌製剤処理料1	250	mL	90分	○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 フルオロウラシル注 1日1回 側管⑤ 無菌製剤処理料1	50	mL	5分	○				
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	☆	生理食塩液 フルオロウラシル注 1日1回 全量100mLに。(Infusor SV2.5) メイン⑥ 無菌製剤処理料1 携帯型ディスプレイ注入ポンプ(化学療法用) 休薬完了	100	mL	46時間 2.5mL/h	○				●
		以下別オーダー								
内服		アプレピタントCap 1日1回 1本目の点滴開始時	125	mg	d1					
内服		アプレピタントCap 1日1回 朝食後	80	mg	d2, 3					